

成和化成

ペプチドを基幹商品とし

天然由来のヘアケア系原材料を展開

加水分解タンパク及びその誘導体の専門メーカーである成和化成は、毛髪補修や保湿を目的とした天然素材由来の原材料を提案している。



社長 吉岡

3月4日～6日にパシフィック横浜で開催されたCITE Japanでは技術発表会を通じて新規素材各種のプロモーションを実施したほか、この夏には「プロモイスKR-30」を発売した。

ウール由来で高分子量の加水分解ケラチンで、数平均分子量は約3万である。

「低臭、低色相で、毛髪へ自然な艶を付与する機能に優れている。アニオン性を帯びているため

カチオン性成分との相乗効果により毛髪表面で被膜を形成する。さらっとした感触が得られるのも特長だ。ヘアサロン業界

各社が新製品の開発に力を注いでいるシステムトリートメントへの提案素材として紹介活動に力を入れている」(同社)という。

また新技術提案として、ヘアトリートメント成分の毛髪への過剰な蓄積

「ビルドアップ」の抑制や、加齢毛髪のエイジングケア、ヘアアイロンやドライヤーなどにより毛髪が受ける熱ダメージの保護など、ニーズに沿った処方提案を各専門誌へ広告展開するなどして広くプロモーションを図っている。

一方でスキンケア用途の新技術としては、乳化性能を持つ多機能性高分子である「PROTES I L F N」の口紅への画期的な応用例をデータとして追加した。

「従来の配合が難しかった水溶性成分を口紅に安定に配合できる技術を開発することで、保湿機能を高め、経時安定性に優れた口紅の調製が期待できる」(同)

また、昨今求められる原材料の安全性については「弊社がこだわりをもつて提供する加水分解タンパク及びその誘導体は、人体の水分を除いた残りの6割を構成する物質であり、したがって人体にとって最も馴染みが良く、安全性が高く、消費者が安心して受け入れられる原材料の一つである」(同)との考えを示している。